



しばたけんいち

柴田賢一 議員

SHIBATA Kenichi

Q. コロナ対策 町長の決意は

A. 万全な感染対策を 講じる

11月半ばから、本町でも新型コロナウイルス感染者数の報告が連日の上上がっている。全国的に感染経路不明の比率が高くなってきていることも見逃せない。

Q 町民が共用する筆記台やカウンターの消毒は。

総務部長

A 窓口のカウンターや1階の記載台については、朝・昼・夕の定期的な消毒・清掃と随時の消毒を行うとともに、定期的な換気を実施している。

Q 保育園でのマスク着用は、どうしているのか。

生活福祉部長

A 3歳児以上は、園舎で過ごすときはマスクを着用し、外で遊ぶときは外している。2歳児以下は、窒息や熱中症のリスクが高まることから、保護者が着用を希望する場合は、除き、原則としてマスクを着用していない。



Q 本格的な冬季を迎え、どのように換気するのか。

生活福祉部長

A 気温の低下にあわせ、暖房を使用しており、空気清浄機を設置し窓の一部を常に開放している。

Q 園児が外にいる時間は、窓を全開するなど十分な換気に努めている。



▲窓を開けて換気

Q 湿度を保つためにどのような対策を行うのか。

生活福祉部長

A 保湿の目安40%以上を維持するよう部屋に濡れタオルを吊り下げている。

Q 新型コロナウイルス感染症対策で町長の決意は。

町長

A 関係機関と連携して対応し、町民の皆さまが抱える感染症への不安を払しょくし、安心かつ安全に生活できるように万全な感染対策を講じる。

Q. 資源の廃棄物処理は

A. 分別しやすく 出しやすい環境へ

Q 政府は今後、ごみの分類に新区分を設け、文具などのプラごみ、容器包装をまとめて回収し、リサイクル率を高める方針である。本町の廃棄物処理計画にある資源の戸別収集をはじめとした取組みには含まれているのか。

生活福祉部長

A 政府からは今後、具体的な内容が示されると思うが、本町の「資源を分別しやすく出しやすい環境を整える」との取組みと大きな相違はない。

Q 戸別収集の際、搬出場所が可燃ゴミと同じか。

生活福祉部長

A 仮に戸別収集に切り替えた場合は、可燃ゴミと同じ搬出場所が現実的である。

Q 回収された資源がどのような工程で、どのような原材になり、最終的にどのような製品になるのか、それを具体的に説明することで分別の意義を町民に理解してもらえるのでは。

生活福祉部長

A 今後は、あらゆる手法や機会を通して、リサイクル資源の分別収集の意義や、処理方法も含めたリデュース、リユース、リサイクル、リフューズの4Rの取り組みを積極的に周知していく。



▲当番者のカゴ詰め